

《対面開催》

第1報

社会事業史学会 第53回大会のご案内

東北と福祉実践

——地域から研究方法論の具体的展開を考える——

本学会は、1973年に「社会事業史研究会」として発足し、1998年に名称を「社会事業史学会」として現在にいたっております。この度の第53回大会は、学会発足以来、石巻における2016年の大会開催以降、東北での二回目の開催となり、東北における福祉実践をあらためて問い直す試みをする事となりました。

アクセス面では、会員の皆様に御不便な点があるかと思いますが、弘前を含めて東北における地域の状況を御覧になっていただくことができるかと思っております。リンゴの花が咲く、北国の遅い春ではありますが、皆様をお待ちしております。

社会事業史学会第53回大会実行委員会

1. テーマ：「東北と福祉実践——地域から研究方法論の具体的展開を考える」
2. 日 時：2025年5月10日（土）～11日（日）
3. 会 場：弘前学院大学〔青森県弘前市稔町13-1〕



（注）重要文化財 弘前学院外人宣教師館

大会日程（1日目）：5月10日（土）

9：00～12：00	スタディ・ガイド
12：00～	大会受付開始・若手研究者研究交流会受付開始
12：30～12：50	開会式
13：00～17：00	自由論題報告・若手研究者研究交流会
17：30～19：00	情報交換会

【自由論題報告】

- ・ 1 論題につき 40 分（報告 30 分、質疑応答 10 分）
- ・ 海外からの参加者は、1 演題につき 50 分（報告 40 分、質疑応答 10 分）

13：00～13：10	司会進行説明・資料配付
13：10～15：10	自由論題報告 1～3 若手研究者研究交流会 *同時開催・時間配分別
15：10～15：20	休憩
15：20～16：40	自由論題報告 4～5 若手研究者研究交流会 *同時開催・時間配分別
16：45～17：00	総括

【情報交換会】

17：30～19：00 弘前パークホテル *表彰等関連行事含

大会日程（2日目）：5月11日（日）

9：00～	受付開始
9：10～10：00	総会

【共通論題報告（シンポジウム）】

10：00～10：05	共通論題（シンポジウム）課題提起
10：05～12：05	報告 1・2・3・4（1 報告 30 分）
12：05～12：50	全体討論
12：50～13：00	閉会式

【第2報告】岡本周佳 会員 [関西学院大学]

「自由学園東北農村セツルメントの研究」(仮)

(概要) 自由学園東北農村セツルメントは、昭和9(1934)年の東北地方の凶作を契機として東北地方6県(のちに5県)で開設されたセツルメントである。自由学園農村セツルメントをセツルメント研究の文脈において位置づけること、先行研究をふまえて俯瞰的に研究することを目指して、①戦前期という時代性、②セツルメント、③農村、④女性史、などの視点から方法論についての模索を中心に報告し、その後の討議で深めたい。

【第3報告】高梨友也 会員 [東北文教大学]

「鳥越記念隣保館と松田甚次郎

—地域住民の生活改善に向けた取り組みに着目して—」(仮)

(概要) 松田甚次郎は、昭和初期に山形県の豪雪地帯(現・新庄市鳥越地区)において地域の組織化と農村劇、農村塾や各種組合の創設、「鳥越記念隣保館」を開設し農繁期託児所や「出産相扶会」・「母の会」等の運営を行った。本報告では、「鳥越記念隣保館」におけるそれらの取り組みに着目し、女性の生活改善を図る特徴を有するととらえるとともに、地域住民への影響と効果等を検証し、その実践における意義と評価について検討したい。

【第4報告】平 将志 会員 [九州産業大学]

「常磐炭田における生活困窮者救済

—福島県旧内郷市を事例として—」(仮)

(概要) 本報告は常磐炭田における生活困窮者救済について、「エネルギー革命期」の福島県旧内郷市(現いわき市内郷)を事例として検討する。具体的には、2つの「公的扶助」である生活保護制度と失対事業との補完関係の変容のほか、当事者による主体性について全日自労など自由労働組合の生存戦略を関連させて論じることで、当該期における生活困窮者救済の特徴をあきらかにする。

参加申込のご案内

本大会は原則、全てGoogleフォームからの申し込みとなります。

	区分	事前申込 4月11日(金)迄	大会当日
大会参加費	名誉会員	無料	
	会員	5,000円	7,000円
	非会員	6,000円	8,000円
	大学院生・学部生 (会員・非会員問わず)	2,000円	3,000円
情報交換会	—	3,500円	不可
昼食弁当	5月10日(土)	1,000円	不可
スタディ・ガイド	5月10日(土)	2,000円	不可

※「大学院生」および「学部生」は、大会参加受付で学生証の提示が必要です。

■ 参加申込・参加費等の支払い 事前申込締切 4月11日(金)まで

- 学会ホームページに「参加申込フォーム」に開設いたします。
なお、本「第1報」にもGoogleフォームへの申し込みQRコードがあります。
- 参加申込フォームに必要事項を記載し登録してください。登録後、受付完了メールを受信できたことをご確認ください。メールが届かない場合は、メールアドレスの誤記入の可能性あります。
- 入金が4月11日(金)迄にない場合は、大会当日参加の金額をお支払いいただきます。その場合、初日のスタディ・ガイドへの参加、昼食弁当のご購入は対応できません。

《事前申込・参加費支払いのお願い》*振込先は「第2報」でご案内致します。

本学会は例年「当日参加申込」が多いため、大会開催校は参加人数の見込みができず、準備に大変苦労しております。

事前申込・参加費支払いへの皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

■ 発表者(自由論報告・若手研究者研究交流会)の事前申し込み

- 発表者は、必ず4月11日(金)までに事前申し込みを行い、参加費等をお支払い下さい。
- 入金4月11日(金)までにない場合は、大会当日参加の金額をお支払いいただきます。

■ 昼食について *事前申し込み

	弁当手配 (1,000円)	学食営業
5月10日(土)	あり	なし

*スタディ・ガイドに申し込みされる方は、お申し込みされると便利です。

■ 事前のご相談・申し出について:(連絡先) ikuyo.matsumoto.sf@hirogaku.ac.jp

託児サービス、手話通訳・要約筆記、合理的配慮については大会申込前に、大会実行委員会にご相談ください。本委員会で検討し開催校とご相談いたします。

■ 第53回大会報告要旨・論文集

本大会においても、冊子(紙媒体)は作成せず、PDFでの期間限定の公開とさせていただきます。予めダウンロードして事前入手ください。入手方法は、「第2報」でお知らせいたします。

■ スタディ・ガイド(弘前パークホテル発~弘前駅・城東口経由~弘前学院大学着)

- ・ 催行日時:5月10日(土)9時~12時 *定員制・事前申し込みが必要です(予定)
- ・ 弘前パークホテル:8時50分発 *5月10日(土)の情報交換会会場です
- ・ 弘前駅(城東口):9時00分経由
- ・ 弘前公園~弘前教会~五重塔~本行寺~長勝寺~弘前愛成園(児童養護施設)
- ・ 弘前学院大学12時00着(予定)

■ 5月10日(土)12時半からの開会式に際しての移動(弘前駅~大学間)について

12:00からの大会受付開始・若手研究者研究交流会受付開始にあわせて弘前駅と弘前学院大学間をバスで送迎(12時~13時予定)を計画します。

なお、スタディ・ガイド後の対応となりますので、予めご了解ください。詳細は、「第2報」でお知らせいたします。

■ 大会(参加・発表)申し込みQRコード

大会参加及び発表申込は、右のQRコードから申し込みください。

*申し込みフォーム:

<https://forms.gle/BEShF9bynVksKoZX8>



研究発表申込要領（自由論題報告・若手研究者研究交流会）

◇ 自由論題報告 [5月11日(土)]

■ 研究発表申込資格

自由論題報告に申し込みできるのは、2025年1月現在、社会事業史学会の会員として理事会で承認されている方のみです。共同報告者がいる場合は、すべての共同研究者が会員であることが必要です。

また、社会事業史学会研究倫理指針の遵守をお願いいたします。

■ 研究発表申込手順

① 報告原稿の作成・発表申込

「フルペーパーの報告原稿」（作成要領をご参照ください）を、2025年3月20日（木）までに提出してください。

提出方法は、Google フォームによる提出となります。なお Google フォームによる提出が難しい方は、メール添付により提出されてください。

なお、期日を過ぎたものは受け付けません。提出後の原稿の提出後の原稿の差し替えは認められません。要旨の提出は、不要です。

事情により報告原稿をメール添付される際には、【メール件名】「**第53回大会自由論題報告・会員氏名**」を記載のうえ、以下の事項をメール本文に記載してください。

- | |
|--|
| <p><メール記載事項>件名：「第53回大会自由論題報告・会員氏名」</p> <ul style="list-style-type: none">・氏名（ふりがな）・会員資格（共同発表者を含めて全員が会員であることを確認してください）・所属先（大学院生の場合は、院生であることを記載してください）・連絡先住所および電話番号・パワーポイント使用の有無 |
|--|

提出先：ikuyo.matsumoto.sf@hirogaku.ac.jp（大会事務局：松本研究室）

② 報告原稿の修正と発表採用の可否

報告原稿に不備（例：作成要領に基づいていない、研究倫理指針を遵守していない、フルペーパーとして内容が不十分である等）があると実行委員会が判断した場合には、不採用、あるいは修正を求めることがあります。

修正や採用の可否については、2025年4月10日（木）までに連絡いたします。
再修正を経ても不十分と判断された場合は、不採用となる場合があります。

③ 大会参加申込

「研究発表申込」と「大会参加申込」は、異なります。大会参加のための事前申込を必ず行ってください。前述の Google フォームによる申し込みとなります。

④ 発表時間帯の決定

2025年5月1日(木)を目処に学会ホームページ上で、自由論題報告の発表順等を公表いたします。発表時間帯の指定や変更はできません。

⑤ 当日の配布資料

発表者で資料を配布される方は、50部程度(印刷部数の判断はお任せします)を当日持参してください。大会事務局では、印刷・コピー業務には対応できません。

◇ 若手研究者研究交流会での報告 [5月10日(土)]

本会は若手研究者相互の自立的な研究環境の醸成に資するとともに、歴史研究の人材養成への一助とすることを目的として開催するもので、研究者として若手という意味で年齢は問いません。

完成した研究成果を発表する学会発表とは異なり、修士論文や博士論文の構想報告、中間報告、執筆中の論文の経過報告など完成前の研究の報告に対して、参加する若手研究者同士での議論や、先輩の研究者からの助言を通して、質の高い研究の完成を目指そうとするものです。

なお、この若手研究者研究交流会には、本学会の会員でなくとも社会福祉の歴史研究に取り組む大学院生及びそれに準ずる方が参加・発表できます。会員資格を問いません。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

① 発表申込

発表申込とあわせて「報告要旨」(研究テーマと概要を記したもの。A4判1枚 800~1200字程度。様式自由)を Google フォームから提出してください。

事情により Google フォームに対応出来ない方は、2025年3月20日(木)までにメール添付してください。期日を過ぎたものは受け付けません。

報告要旨をメール添付される際には、【メール件名】「**第53回大会若手研究者研究交流会報告・氏名**」を記載のうえ、以下の事項をメール本文に記載してください。

＜メール記載事項＞件名：第53回大会若手研究者研究交流会報告・氏名
・氏名（ふりがな）
・会員資格（会員・非会員のいずれか）
・所属先（大学院生の場合は、院生であることを記載）
・連絡先住所・電話番号
・パワーポイント使用の有無

提出先：ikuyo.matsumoto.sf@hirogaku.ac.jp（大会事務局：松本研究室）

② 発表採用の可否

申込多数の場合は、実行委員会及び担当理事にて検討の上、報告者を絞る場合があります。採用の可否については、2025年4月10日(木)までにご連絡いたします。

本会の報告者は2～3名を予定しており、報告数により一人あたりの持ち時間が変動します（前大会実績：報告20分+質疑・応答・討議15分）。採用決定時にお知らせいたします。

③ その他

留意点は、「自由論題報告」と同様です。報告後に、研究交流を予定しています。

若手研究者研究交流会についてのご不明な点は、大会実行委員会ではなく、社会事業史学会事務局までお問合せください。

* 申し込みの際して（お願い）

本大会は、従来の大会と異なり、QRコードによる申し込みとなります。スマートフォンをご利用なさっていない方は、本PDFファイルの罫線部分のアドレスをダブルクリックすることで申し込みフォームに辿り着きます。

研究発表申込者（自由論題報告・若手研究者研究交流会）は、大会参加申し込みもあわせて行ってください。

大会申し込み後に、自由論題報告もしくは若手研究者研究交流会の申し込みに進んでください。フォームの下部に「自由論題」「若手研究者交流会」のリンクが設定されています。

大会（参加・発表）申し込みQRコード(再掲)

大会参加及び発表申込は、右のQRコードから申し込みください。

*申し込みフォーム：

<https://forms.gle/BEShF9bynVksKoZX8>



会場へのアクセス

会 場：弘前学院大学

住 所：〒036-8577 青森県弘前市稔町13-1

最寄駅：弘前学院大学前（弘南鉄道）／ JR弘前駅（JR奥羽本線）

- 飛行機の場合
各地空港から青森空港、青森空港から「空港バス」で弘前駅まで(約 55 分)
「空港バス」(リムジンバス)以外で、弘前市内のタクシー会社である北星交通
に直接予約(Tel:0172-33-3333、メール可、電話とメールで予約締切が違
います)すると、一人当たり 3,000 円で、空港から弘前の目的地まで(例えば、
JR 弘前駅あるいは弘前学院大学まで)乗り合いで、送迎をするシステムがあ
ります。詳細は、下記の北星交通ホームページを御覧ください。
<https://www.hokuseikotsu.co.jp/php/aozora.php>
- 新幹線の場合
「新幹線」東京・函館方面から新青森駅へ。
新青森駅から「JR 奥羽線」で弘前駅まで(約 25 分～40 分)
- 高速バスの場合
「ヨーデル号」盛岡駅から弘前駅、弘前バスターミナルまで(約 2 時間 15 分)
「キャッスル号」仙台駅近郊から弘前バスターミナルまで(約 4 時間 20 分)
「ニューノックターン号・パンダ号(夜行便)」東京から弘前バスターミナルまで
(約 9 時間～9 時間 40 分)
- お車の場合 ※キャンパス内には駐車スペースがございます。
東北自動車道「大鰐・弘前 I.C.」から国道 7 号・一般道で(約 20 分)または
「黒石 I.C.」から国道 102 号・一般道で(約 30 分)



大会組織

社会事業史学会第 53 回大会実行委員会

大会長：藁科 勝之（弘前学院大学学長）
実行委員長：松本 郁代（弘前学院大学）
事務局長：丸山 龍太（弘前学院大学）
事務局次長：渡邊 圭（東北学院大学）
実行委員：泉 啓（岩手県立大学）
熊沢 由美（東北学院大学）
能田 昂（秋田大学・学会監事）
元村 智明（東北福祉大学・担当理事）

【お問い合わせ先】

■大会に関すること

弘前学院大学 松本研究室 ikuyo.matsumoto.sf@hirogaku.ac.jp

■学会に関すること

愛知県立大学 宇都宮研究室 utu@ews.aichi-pu.ac.jp